

令和6年能登半島地震に係る対応等について（第6報）

令和6年2月16日9時
京都府災害支援対策本部

1 地震の概要

- ・発生時刻：令和6年1月1日（月） 16時10分頃
- ・震源地：石川県能登地方
- ・震源の深さ：16km
- ・マグニチュード：M7.6
- ・その他：震度5以上の余震多数

2 各地の震度情報

- 【震度7】石川県 志賀町、輪島市
 - 【震度6強】石川県 七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
 - 【震度6弱】石川県 中能登町
 - 【震度5強以上】 多数
- 京都府内
- 【震度4】 長岡京市
 - 【震度3】 多数

3 津波予警報

- 【大津波警報】 石川県(能登地方)
 - 【津波警報】 日本海沿岸部各地
- 京都府内
- 【津波注意報】 舞鶴市、京丹後市、宮津市、伊根町、与謝野町
- 津波到達：舞鶴市： 0.4m （1月1日21:47、1月2日0:43）
1月2日 10:00 解除

4 京都府の被害状況等

- (1) 人的・住家被害：なし
- (2) 福井県内の原子力発電所：異常なし
- (3) 高速道路・府管理道路：府道天橋立線通行止め（1月1日20:30～2日10:50解除）
- (4) 交通機関
 - JR 西日本
京阪神エリアを発着するサンダーバード、しらさぎについて1月2日正午頃から、
運転再開（一部区間は運転取りやめ）
 - 丹後海陸交通
伊根湾めぐり遊覧船 →津波注意報発令中のため、1月2日始発より欠航
→津波注意報解除に伴い、1月2日10時30分より運行再開
天橋立観光船 →津波注意報発令中のため、1月2日始発より欠航
→津波注意報解除に伴い、1月2日10時30分より運行再開
- (5) 配備体制：災害警戒本部・支部（丹後・中丹・山城）設置（1月1日16:10）
（山城支部：1月1日21:41閉鎖、丹後支部：1月2日11:00閉鎖、
中丹支部：1月2日12:46閉鎖、本部：1月2日12:50閉鎖）
- (6) その他の被害：府立八幡支援学校の高等部校舎で複数箇所の亀裂
府立東宇治高等学校の校舎渡り廊下で天井ボード落下及び各階
ジョイント部にずれ
向日市福祉会館外壁タイルの亀裂及びひび割れ
向日市保健センター外壁タイルの盛り上がり
京都府南部総合地方卸売市場（宇治市）で水道管破裂、漏水

5 避難の状況

- 舞鶴市：沿岸部に対して高台等への避難指示を発令（1月1日16:56）
約516名が避難実施（全員帰宅済み）
- 宮津市：自主避難あり（全員帰宅済み）
- 京丹後市：自主避難145名（全員帰宅済み）
- 与謝野町：自主避難1名（全員帰宅済み）
- 伊根町：自主避難4名（全員帰宅済み）

6 市町村警戒体制

- 伊根町：1月1日 16:12 災害警戒本部設置 → 1月2日 10:00 閉鎖
- 京丹後市：1月1日 16:13 災害警戒本部設置 → 1月2日 10:00 閉鎖
- 宮津市：1月1日 16:44 災害警戒本部設置 → 1月2日 10:25 閉鎖
- 舞鶴市：1月1日 16:12 災害警戒本部設置 → 1月2日 10:00 閉鎖
- 与謝野町：1月1日 16:12 災害警戒本部設置 → 1月2日 10:00 閉鎖

7 京都府の支援状況等

1月4日 12:00 災害支援対策本部設置

(1) 物的支援

○備蓄物資支援

- ・府備蓄物資（飲料水50箱、毛布60箱、子ども用おむつ17箱、大人用おむつ2箱、生理用品3箱、粉ミルク2箱、哺乳瓶5箱、離乳食15箱）を石川県へ海路輸送（1月2日12:00）
※舞鶴市の支援物資と併せて、舞鶴港から海上自衛隊多用途支援艦「ひうち」により輸送
- ・府備蓄物資等（飲料水、毛布、おしりふき、消毒液、マスク、アルミブランケット）を職員派遣と併せてバスで七尾市へ輸送（1月9日9:30）

(2) 人的支援

○関西広域連合現地支援本部へのリエゾン派遣

- ・本部が設置されている石川県庁（金沢市）へ職員2名を派遣（活動期間：1/25～1/28）

○対口支援先へのリエゾン派遣

- ・関西広域連合として決定した、京都府の対口支援先である七尾市に職員2名を派遣（第1次活動期間：1/5～1/9、第2次活動期間：1/9～1/13、第3次活動期間：1/13～1/17、第4次活動期間：1/17～1/21、第5次活動期間：1/21～1/26、第6次活動期間：1/26～1/29、第7次活動期間：1/29～2/2、第8次活動期間：2/2～2/7、第9次活動期間：2/7～2/11、第10次活動期間：2/11～2/15、第11次活動期間：2/15～2/19の予定）

○対口支援先への避難所運営支援等の派遣

- ・京都府の対口支援先である七尾市に、避難所運営支援等のため職員33名※を派遣（第1次活動期間：1/9～1/13、第2次活動期間：1/13～1/17、第3次活動期間：1/17～1/21、第4次活動期間：1/21～1/26、第5次活動期間：1/26～1/29、第6次活動期間：1/29～2/2、第7次活動期間：2/2～2/6、第8次活動期間：2/6～2/10、第9次活動期間：2/10～2/14、第10次活動期間：2/14～2/18の予定）
※第2次以降は京都市除く市町村職員15～16名を含む
※第8次以降は罹災証明書発行事務支援として、府職員及び京都市除く市町村職員2～4名含む

○D P A T（災害派遣精神医療チーム）

- ・京都府立洛南病院D P A T先遣隊チーム（6名：医師1名、看護師2名、業務調整員3名）を、石川県D P A T調整本部（石川県庁内（金沢市））へ派遣（1/10～1/15）

○D H E A T（災害時健康危機管理支援チーム）

- ・厚生労働省DHEAT事務局等からの派遣要請を受け、石川県能登中部保健福祉センター（七尾市）へ府職員5名（医師、保健師、管理栄養士、薬剤師、業務調整員等）を派遣中（第1班：2/1～2/7、第2班：2/7～2/13、第3班：2/13～2/19、第4班：2/19～2/23の予定）

○保健師等チーム

- ・保健師等1チーム（4名：保健師3名、業務調整員1名）を珠洲市へ派遣中（第1班：1/9～1/13、第2班：1/13～1/17、第3班：1/17～1/21、第4班：1/21～1/25、第5班：1/27～1/29、第6班：1/29～2/2、第7班：2/2～2/6、第8班：2/6～2/10、第9班：2/10～2/14、第10班：2/14～2/18）
※第5班以降は京都市除く市町村保健師1～2名を含む
- ・保健師チームに栄養士を加えた支援活動を実施（活動期間：1/21～）

○応急危険度判定業務

- ・建築技術職員4名（地震被災建築物応急危険度判定士）を珠洲市へ派遣（1/10～1/13：2名、1/12～1/15：2名）

○教育支援

- ・学校教育活動支援等のため、七尾市教育委員会等にリエゾン職員等を派遣（1/21～2/16）
リエゾン職員（活動期間：1/21～1/26 2名、1/26～1/29 3名）
学校再開支援員（活動期間：1/29～2/2 2名、2/5～2/9 2名、
2/13～2/16 2名）
- ・輪島市等から集団避難している中学生の学習指導等のため、金沢市及び白山市内の二次避難先等に教職員を派遣予定（活動期間：2/5～2/22 延べ4名予定）

○応急仮設住宅の建設支援

- ・技術職員6名を石川県庁へ派遣（2/5～2/18）
3名ずつ派遣し、1週間で交代予定

(3) その他

○給水支援

- ・府所有給水車1台及び職員4名を能登町に派遣（1/15～2/1、2/18～2/25予定）

○義援金の受付

- ・義援金の受付開始（1/5～）

○府営住宅の提供

- ・被災者の生活支援として、府営住宅を一定期間無償で20戸提供（1/5～）
→5戸入居（1月17日、1月30日、2月1日、2月9日、2月16日）

○地域交響プロジェクト交付金「被災地支援プログラム」の募集

- ・府内の非営利団体（NPOやボランティアサークル等）が災害ボランティアセンターを通じて行う被災地及び被災者への支援活動に対して交付金を交付

○府ホームページ「令和6年能登半島地震における被災地支援について」

- ・被災者及び府民向けに、被災地支援に係る特設ページを開設

8 市町村の支援状況

○京都市

- ・非常食:2,400食、飲料水(490ml):72,000本、毛布:200枚、簡易トイレ:600個、子ども用おむつ約3,000枚、大人用おむつ:約17,000枚、その他(1月5日:七尾市、羽咋市、中能登町)
- ・応急給水活動:給水車1台、作業車等3台、仮設給水槽2基を能登町へ派遣(1/6~1/10:12名、1/10~1/16:12名、1/16~1/22:12名、1/22~1/28:12名)
- ・被災者の生活支援として市営住宅を一定期間無償で30戸提供(1/5~)→13戸入居
- ・義援金の受付開始(1/4~)
- ・関西広域連合による支援の枠組みの中で京都市がカウンターパートとなった七尾市に対しリエゾン(連絡要員)として職員2名を派遣(第1次活動期間:1/5~1/9、第2次活動期間:1/9~1/15、第3次活動期間:1/15~1/19、第4次活動期間:1/19~1/24、第5次活動期間:1/24~1/29、第6次活動期間:1/29~2/2)
- ・七尾市内避難所の運営支援要員8名を派遣(第1次活動期間:1/10~1/15、第2次活動期間:1/15~1/19、第3次活動期間:1/19~1/24、第4次活動期間:1/24~1/29、第5次活動期間:1/29~2/2)
- ・応急危険度判定業務支援として、職員2名を能登町へ(1/11~1/13)、職員6名を珠洲市へ派遣(1/13~1/15:2名、1/16~1/18:2名、1/19~1/21:2名)
- ・下水道管路施設の早期復旧に向けた支援調整等のため、職員を能登町へ派遣(1/8~:3名、1/10~:4名、1/16~:3名、1/18~:3名、1/25~:3名、1/29~:1名、1/31~:3名、2/1~:3名、2/8~:3名、2/15~3名)
- ・避難所等スタッフからの健康相談の対応等として、保健師等チーム(保健師3名、業務調整員1名、第4次及び第5次は保健師4名)をいしかわ総合スポーツセンター(金沢市)へ派遣(第1次活動期間:1/11~1/15、第2次活動期間:1/15~1/20、第3次活動期間:1/20~1/25、第4次活動期間:1/25~1/30、第5次活動期間:1/29~2/4)
- ・医療、介護が必要な避難者へのケアや避難所における感染対策を実施するため、市立病院から災害支援ナースを1名派遣(1/15~1/18)
- ・水道の応急復旧に向けた水道管の漏水調査及び通水作業のため、職員8名を能登町に派遣(第1陣:1/17~1/24、第2陣:1/23~1/31、第3陣:1/29~)
- ・避難所ごみ及び災害ごみの収集のため、職員9名を珠洲市等へ派遣(先遣隊:1/29~、第1次:1/31~)
- ・被災児童生徒等への心のケアや学校運営の復旧等に係る支援、ニーズ把握等のため、職員4名を七尾市へ派遣(第1次:1/22~ カウンセラー2名、事務局教育職員2名)

○共通(京都市除く)

- ・七尾市に避難所運営支援として各期間15~16名を派遣(活動期間:1/13~1/17、1/17~1/21、1/21~1/26、1/26~1/29、1/29~2/2、2/2~2/6、2/6~2/10)
- ・義援金の受付開始(受付時期は市町村により異なる)
- ・市営及び町営住宅(16市町)を一定期間無償で提供(計60戸)→3戸入居
- ・応急危険度判定業務支援として職員を派遣(1/13~1/15:舞鶴市2名、1/14~1/16:宇治市2名、1/16~1/18:城陽市3名、向日市1名、1/17~1/19:福知山市2名、1/20~1/21:亀岡市2名)
- ・市町村所有の給水車(各1台)及び職員を能登町に派遣(1/16~1/18:舞鶴市2名、1/18~1/21:福知山市4名、1/21~1/24:亀岡市2名、1/24~1/27:京丹波町4名、1/27~2/2:木津川市6名、2/1~2/4:綾部市2名、2/2~2/8:京田辺市5名、2/4~2/7:宮津市2名、2/7~2/10:長岡京市2名、2/10~2/13:向日市2名、2/10~2/15:宇治田原町2名、2/13~2/16:京丹後市4名、2/16~2/19:与謝野町2名)

○舞鶴市

- ・飲料水(500ml):432本、毛布:200枚(1月2日:石川県※提供先市町は不明)
- ・ベビーフード:96食、袋入非常食パン:216食、液体ミルク:216本、トイレ袋:2,000袋、乳幼児用おむつ:708枚、大人用おむつ:80枚、泡ハンドソープ:12個、簡易トイレ:20基(1月4日:石川県※提供先市町は不明)

○亀岡市

- ・災害派遣用トイレトレーラー1台を石川県七尾市に派遣(1/2~1/21)
※職員3名は1月3日に帰還
- ・災害派遣用トイレトレーラー1台を七尾市から移設し、珠洲市に派遣(1/22~当分の間)※牽引車両を移送するため、職員2名を派遣(1/21~1/23)
- ・ビスケット缶:200缶、飲料水(2ℓ):240本、トイレトペーパー:120巻、毛布:300枚、乳幼児用おむつ:480枚、生理用品:1,065枚(1月2日:七尾市)
(トイレトレーラーと併せて持参)
- ・全国から派遣されたトイレトレーラーの運営支援のため、職員2名を七尾市、輪島市、能登町、珠洲市に派遣(1/16~1/23)

○長岡京市

- ・備蓄水:2,400本、わかめご飯:2,500食、五目ご飯:2,500食、おかゆ:1,000食、ビスコ:3,000袋、缶詰パン:2,400缶、ブルーシート:500枚(1月11日:七尾市)

○京丹後市

- ・飲料水(500ml):2,400本、白粥:750食、毛布:250枚、子ども用おむつ:1,168枚、生理用品:512枚、粉ミルク:10缶、哺乳瓶:40本(1月5日:石川県※提供先市町は不明)

9 関係機関の対応状況

<総合>

○全国知事会

- ・三重県(中部圏ブロック幹事)が先遣隊を派遣(1月2日)
- ・緊急広域支援対策本部を設置(1月2日14:00)

○関西広域連合

- ・現地に職員を派遣(1月2日~)
- ・災害対策支援本部設置(1月2日13:00)
- ・令和6年能登半島地震災害対策支援本部会議を開催し、対口支援実施を決定(1月4日11:00)
- ・令和6年能登半島地震に係る参与会議を開催し、対口支援先カウンターパートを決定(1月4日15:00)

<警察・消防関係>

○京都府警察本部

- ・緊急事態対策室を設置(1/1 16:10)
- ・広域警察航空隊1機4人を特別派遣(1/1~1/2)
- ・広域緊急援助隊(警備部隊)97人を特別派遣(1/1~1/5)
- ・広域緊急援助隊(刑事部隊)12人を特別派遣(1/4~1/11)
- ・特別自動車警ら部隊8人を特別派遣(1/6~1/15)
- ・広域緊急援助隊(警備部隊)及び緊急災害警備隊82人を特別派遣(1/10~1/17)
- ・特別機動捜査部隊8人を特別派遣(1/10~1/16)
- ・特別生活安全部隊6人を特別派遣(1/14~1/23)
- ・広域緊急援助隊(交通部隊)28人を特別派遣(1/20~1/26)
- ・特別自動車警ら部隊12人を特別派遣(1/25~2/5)

- ・防犯カメラ設置部隊4人を特別派遣 (1/25～1/31)
- ・特別機動捜査部隊8人を特別派遣 (1/26～1/31)
- ・広域警察航空隊1機5人を特別派遣 (1/26～2/1)
- ・広域緊急援助隊(交通部隊)19人を特別派遣 (2/5～2/11)
- ・特別生活安全部隊6人を特別派遣 (2/5～2/14)
- ・特別自動車警ら部隊約10人を特別派遣 (2/5～2/16予定)
- ・防犯カメラ設置部隊4人を特別派遣 (2/6～2/12)
- ・特別自動車警ら部隊約10人を特別派遣 (2/16～2/27予定)

○緊急消防援助隊 <指揮支援隊・京都府大隊>

- ・第1次派遣隊(40隊144名)が出動 (1/1～1/5)
- ・第2次派遣隊(44隊155名)が出動 (1/4～1/8)
- ・第3次派遣隊(44隊151名)が出動 (1/7～1/11)
- ・第4次派遣隊(45隊159名)が出動 (1/10～1/14)
- ・第5次派遣隊(44隊154名)が出動 (1/13～1/17)
- ・第6次派遣隊(45隊157名)が出動 (1/16～1/20)
- ・第7次派遣隊(44隊153名)が出動 (1/19～1/23)
- ・第8次派遣隊(31隊139名)が出動 (1/22～1/28)
- ・第9次・第10次派遣隊(31隊102名)が出動 (1/27～2/1)
- ・第11次派遣隊(27隊98名)が出動 (1/31～2/4)
- ・第12次派遣隊(17隊78名)が出動 (2/3～2/7)
- ・第13次派遣隊(14隊46名)が出動 (2/6～2/10)
- ・第14次派遣隊(15隊51名)が出動 (2/9～2/13)
- ・第15次派遣隊(14隊45名)が出動 (2/12～2/16)
- ・第16次派遣隊(15隊51名)が出動 (2/15～2/19予定)
- ・京都市消防航空隊の派遣 (1/3以降) ※1/1～1/2は第1次派遣に含む
 - 1 隊 6 名 (1/3～1/6)、1 隊 7 名 (1/11)、1 隊 6 名 (1/14)、1 隊 5 名 (1/17)、
 - 1 隊 6 名 (1/20～1/22)、1 隊 5 名 (1/27～1/31)

<医療・福祉関係>

○DMAT(災害派遣医療チーム)

- ・9チーム(9病院)を石川県立中央病院(拠点)へ派遣(第1陣活動期間:同病院・金沢大学附属病院において活動1/4～1/7)
- ・第2陣として、9チーム(8病院)を石川県立中央病院へ派遣(活動期間:1/10～1/17) ※第2陣は1日当たり3チームで活動
- ・第3陣として、14チーム(11病院)を石川県庁へ派遣(活動期間:1/18～2/4)
- ※第3陣は1日当たり原則3チームで活動
- ・ロジスティックチーム隊員を輪島市役所(2名)及び穴水町役場(1名)へ派遣(活動期間:輪島市役所1/11～1/19、穴水町役場1/17～1/25)、金沢以南保健医療福祉調整本部(石川県庁)に1名(2/16～2/18)派遣予定

○DWAT(災害派遣福祉チーム)

- ・石川県及び災害福祉支援ネットワーク中央センター(事務局:社会福祉法人全国社会福祉協議会)から派遣要請を受け、初動支援要員1名を金沢市内他へ派遣(活動期間:1/8～1/11)
- ・第1次派遣として、1月10日から1月末までチーム員2名(うち1名は初動支援要員)を派遣し、七尾市内他で支援活動。1月24日に追加派遣要請があり、第2次派遣として、2月末まで延長予定(活動期間:1/10～2/29、3泊4日(前泊日除く)交代で計26名派遣予定(初動支援要員1名を含む))
- ・2月14日に追加派遣要請があり、第3次派遣として、3月末まで延長予定(第1次～第3次 計41名派遣予定)

○その他医療従事者

- ・日本赤十字社近畿ブロックの国内災害救助活動として、舞鶴赤十字病院の医療チーム（7名：医師1名、看護師3名、薬剤師1名、事務2名 1/9～1/11）、（6名：医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務2名 1/22～1/24）、京都第一赤十字病院の医療チーム（7名：職種構成は同上 1/13～1/15、1/18～1/20、2/14～2/16）、（6名：医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務2名 1/29～2/2）を輪島市内の避難所へ派遣、京都第二赤十字病院の医療チーム（6名：職種構成は同上 1/27～1/29、2/6～2/8）を輪島市内の避難所へ派遣
- ・日本看護協会から派遣要請を受け、2病院から看護師2名を市立輪島病院（輪島市）へ派遣（1/9～1/12）、4病院から看護師4名を輪島市内や金沢市内の避難所へ派遣（1/12～1/15、1/15～1/18）、2病院から看護師2名を輪島市内の避難所へ派遣（1/18～1/21）、3病院から看護師4名を輪島市内の避難所へ派遣（1/21～1/24）、2病院等から看護師2名を金沢市内の避難所へ派遣（1/24～1/27、1/27～1/30、1/30～2/2、2/2～2/5、2/5～2/8、2/8～2/11、2/14～2/17）
- ・国立病院機構本部から派遣要請を受け、舞鶴医療センターの医療チーム5名（医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）を輪島市内の避難所へ派遣（1/17～1/19、2/4～2/6）
- ・日本医師会からの派遣要請を受け、京都府医師会からJMAT（日本医師会災害医療チーム）（事務3名）を石川県JMAT調整本部に派遣（1/17～1/21※活動日により1～2名体制）、3チーム（職種構成：医師1名、看護師1名、薬剤師1名）を輪島市内の避難所へ派遣（1/28～1/30、1/30～2/1、2/1～2/3、2/3～2/5、2/5～2/7）
- ・日本薬剤師会からの派遣要請を受け、京都府薬剤師会から2チーム（1チーム、薬剤師3名）を穴水町に派遣（1/11～1/15）、1チーム（薬剤師2名）を穴水町に派遣（1/22～1/26）、1チーム（薬剤師2名）を穴水町に派遣（1/25～1/29）、1チーム（薬剤師3名）を輪島市に派遣（2/2～2/6）、1チーム（薬剤師2名）を羽咋市に派遣（2/15～2/19）
- ・日本栄養士会からの派遣要請を受け、京都府栄養士会からJDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）1チーム3名（管理栄養士、栄養士）を1.5次避難所（金沢市内）及び七尾市を拠点に能登半島北部市町等へ派遣（第1班：1/23～1/25、第2班：1/27～1/29、第3班：2/4～2/6、第4班：2/9～2/11、第5班：2/14～2/16）
- ・厚生労働省及び日本歯科医師会からの派遣要請を受け、京都府歯科医師会からJDAT（災害歯科支援チーム）1チーム3～4名（歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士）を能登町へ派遣（第1班：1/25～1/27、第2班：2/2～2/3、第3班：2/9～2/10、第4班：2/16～2/17）※1/25は大雪のため活動中止
- ・一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会（J R A T）からの派遣要請を受け、京都J R A Tから災害リハビリテーション支援チーム（2チーム）を被災地（具体的な派遣地は未定）の避難所に派遣予定（第1班：2/22～/24（職種構成：医師1名・理学療法士2名）、第2班：2/27～2/29（職種構成：医師1名・理学療法士2名））

< 2次避難所確保関係 >

○京都府旅館ホテル生活衛生同業組合

- ・全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会の要請を受け、府内の加盟宿泊施設の受入可能状況を調査（1月11日17時時点で、1,118室2,733名の受入れが可能と確認済）

< 衛生関係 >

○京都府環境整備事業協同組合

- ・珠洲市及び七尾市のし尿及び浄化槽汚泥について、羽咋市又は金沢市の処理施設への運搬を支援（活動期間：1/10～1/19）

＜水産関係＞

○京都府漁業協同組合

- ・全国漁業協同組合連合会からの要請によりカイロ127箱、缶詰279缶、水1,548ℓ他を水産庁船舶で能登半島の各被災地に輸送（1月9日）
- ・京都府漁業協同組合の独自支援として灯油5,000ℓ、ポリ缶(20ℓ)50個、ストーブ10台、発電機2台他をトラック、ローリー車で石川県漁業協同組合（物資拠点）に提供（1月9日）

＜その他＞

○京都府災害ボランティアセンター

- ・災害ボランティア活動サポート募金の受付開始（1/17～2/29の予定）
- ・今後の府内からの本格派遣に向けた先遣活動を行うため、2月17日に京都府及び京都市の災害ボランティアセンターから計10名を派遣予定

○京都府社会福祉協議会・市町村社会福祉協議会

- ・全国社会福祉協議会からの要請により、七尾市災害ボランティアセンターの立ち上げ及び運営支援として七尾市社会福祉協議会に職員計37名（活動期間：1/25～4/3の間で交替しつつ派遣予定）、生活福祉資金特例貸付業務支援として輪島市社会福祉協議会等に職員1名を派遣（1/25～1/30）

○「5日で5000枚の約束。プロジェクト」実行委員会

- ・畳店で構成された同実行委員会が、七尾市との防災協定に基づき、避難所へ畳228枚を提供（1月14日）